

大学の教官は教室で学生に知識を授け、教育するということに、また自ら絶えず學術の研究に努力すべき義務をもっている筈である。この度、わが島根大学の教官諸氏が、それぞれの専門分野に於いて研究をつづけている成果の一端を取りまとめ「島根大学論集」として発表することになった。誠に必要にして且つ有意義な企てで私の欣快とするところである。

ここに第一号を發刊して世におくるに当り、なお今後一層のよき、成果をおさめ、以て学界に寄与せんことを念願するが故に、何とぞ大方の忌憚なき批判を切望してやまない。

昭和二十六年三月

島根大学長 山根新次